

# 豊中の未来を描こう！！

発行 2013年8月

VOL. 82

紫外線対策、  
熱中症対策、  
節電対策、  
対策だらけの  
夏ですわ(汗)

豊中市議会議員  
無所属・未来派

かんばんこういちろう

## 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～



### 関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

#### ◆ 学校規模と通学区域の課題解消に向けた市の方向性とは！？ ◆

豊中市では小中学校の現状と課題について、大きくは以下の3つの点で議論されてきました。

- ①大規模校(児童生徒数に見合った施設が整っていない、近い将来教室の不足が発生する学校)
- ②過少校(児童・生徒数の少ない学校)
- ③分割校(1つの小学校から2つ以上の中学校に進学する小学校)

#### ①大規模校の解消について

(上野小学校：児童数は1000人を超えて推移)  
2015年度から5か年での全面改築が計画で、教室数の確保を図る

(南桜塚小学校：今後も児童数は増加傾向)  
一部校舎の建替えが計画で、教室数の確保を図る

(桜井谷東小学校：児童数の急増が見込まれる)  
(旧)少路高校跡地に大規模集合住宅が建設され、児童数の急増が見込まれるため校舎増築で、教室数を確保する

(東泉丘小学校：今後も児童数は増加傾向)  
通学区域である新千里南町3丁目を南丘小学校の通学区域とし、将来的な教室不足の未然回避を検討中

(第9中学校：生徒数・学級数は増加傾向)  
西丘小学校の通学区域を第8中学校の通学区域とし、将来的な教室不足の未然回避を検討中

(第17中学校：今後も生徒数は増加傾向)  
校舎増築で、教室数を確保する

#### ③分割校の解消について

現在、桜井谷、熊野田、原田、上野、庄内南、島田、千成、東豊中、刀根山、東豊台、緑地、桜井谷東、東泉丘、豊島の14小学校が分割校となっており、まずは、分割進学の課題を解消することで一小一中が可能となる蛍池・刀根山地区が検討されました。

(刀根山小学校：第13中学校と18中学校に分かれて進学)  
刀根山小学校の通学区域のうち、第18中学校へ通学している地域を第13中学校の通学区域にすることを検討中

※5月24日付で豊中市学校教育審議会が提出した答申内容より。

#### ②過少校の解消について

(庄内、庄内南、庄内西、島田、豊南、高川小学校：  
クラス替えが出来ない学年がある)  
・隣接校との合同授業や中学校との連携、学級編成の弾力的運用の活用を検討中

・通学区域の見直しによる庄内南、島田、千成小学校の分割進学の解消と施設一体型小中一貫校の整備を検討中

(第6中学校・第7中学校・第10中学校：今後も  
生徒数の減少が予測される)  
将来の生徒数に見合った中学校の配置のあり方を検討

(南丘小学校：1学年1クラスが続く)  
東泉丘小学校の通学区域である新千里南町3丁目を南丘小学校の通学区域とし、規模の適正化を図る

#### 【課題解消する際、重視(優先)することは？】

- ①大規模校、過少校の解消
- ②分割校の解消
- ③地域コミュニティの保護
- ④その他

小学校、中学校は地域コミュニティを構成するための中心的な拠点施設であり、通学区域(校区)の見直しは、形成されてきた地域コミュニティが壊れる恐れがあります。一方、過少校や分割校は効率的、効果的な教育機会の提供の妨げになっているように感じます。

これからの子どもたちの教育環境、  
地域コミュニティを左右する課題について、  
皆さんはどのように考えられますか？



# ◆ 会派視察報告！！～井の中の蛙であってはならない！！～ ◆



他市に出向き、色んな話を伺い、現場を見ることで、まだまだ豊中市の施策に活かせる事例があることを学びました。

## 『自治体向け災害協定』

＜ヤフー株式会社(Yahoo Japan)＞

各種災害が起こることを想定して、震災・豪雨・津波情報、インフラ情報、避難者及び避難所の情報などをインターネットで適切に発信していく必要性、重要性が高まっています。行政だけの取り組みでは限界があり、民間企業との協力体制の構築は不可欠です。

### 【災害協定を結ぶメリット】

- **リアルタイムの情報発信が可能**  
市が市民に届けたい情報を、正確に、リアルタイムに、効率的に、かつ一元的に届けるサポートが受けられる
- **市のホームページのサーバダウンを回避**  
緊急時に市のホームページへのアクセスが集中し、サーバダウンすることを、ヤフーがキャッシュサイトを作成することで、市のホームページの負担軽減してくれる
- **各種情報発信ツールの活用が可能**  
災害情報ブログや避難所マップなどが活用できる

まだまだ、全国的にも協定を締結している自治体が少ないようですが、豊中市も協定締結を前向きに検討すべきです！

## 『先進的な人事評価制度』

＜神奈川県川崎市＞

川崎市では、業績評価と能力評価を絶対評価で点数化し、その合算値を部局ごとに、相対評価で5段階に区分され、昇給に反映させています。

### 【人事評価制度の目的】

- **職員のモチベーションの向上**  
職員一人ひとりの能力や実績を適正に評価し人事や給与に反映させることで、職員のやる気や働きがいを引き出す
- **職員の主体性の向上**  
各自が目標管理をして PDCA サイクルを回すことで、主体的な職務遂行や自己啓発に繋げる
- **職員の能力向上と人材育成**  
能力評価や業務評価を本人にフィードバックすることで、能力開発、人材育成に役立てる

従来の横並び意識や年功序列的な人事から、能力や実績を重視し業績評価を給与へ客観的、相対的に反映させる人事評価制度の構築が必要不可欠です！

## 『買い物支援モデル事業』

＜東京都練馬区＞

高齢者や子育て世代の中には、お買い物商品を持ち帰ることや、買い物に行くこと自体に困難を抱える方がおり、練馬区では以下のサービスをスタートしましたが・・・。

- **手ぶらで帰宅サービス**  
商店街で買い物した商品を、電動アシスト三輪自転車で利用者の自宅に届ける(300円/1回)
- **送迎サービス**  
商店街周辺から商店街までや商店街から利用者宅まで、利用者とお買い物商品を送迎する(初乗り500m300円、以降100m毎に50円)
- **移動販売サービス**  
商店街までの距離が遠い地域で、商店街の商品を販売する

これらのサービスは事前アンケートなどの結果に基づき実施されたにも拘わらず利用実績が乏しく、市民アンケートの分析方法に課題を感じました。

## 『コーチングプログラム』

＜神奈川県小田原市＞

『コーチング』とは、コーチからの効果的な「問い」により、対話を重ね、コーチを受ける人自身がどうすべきかを考え気づき、考え方を備えて行動することを支援し、成果を出す手法です。

### 【コーチングのメリット】

- **主体性、想像力の醸成**  
複雑化・多様化する社会では、自らが解決策を見出さなければならず、ティーチングでは対応できない
- **若い世代の意識改革**  
指示待ち・失敗に対する過剰な恐怖心・責任を極力回避する傾向にある若い世代の意識と組織の風土が改善
- **職員のコミュニケーション機会の拡大**  
職員間のコミュニケーションをとる機会が大幅に増加

与えられた業務を何となくこなすといったお役所仕事の意識では対応できなくなってきた中、新たな人材育成、職員の意識改革、組織の風土改善の手法として、コーチングは意義あるものと感じました。

## 発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階  
TEL&FAX:06-6854-5664

平日(祝日は除く)の 10時から 17時はスタッフがおります。

young\_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive\_square/

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



## 前向きひろば 神原宏一郎 事務所

